

萩まち歩きマップ

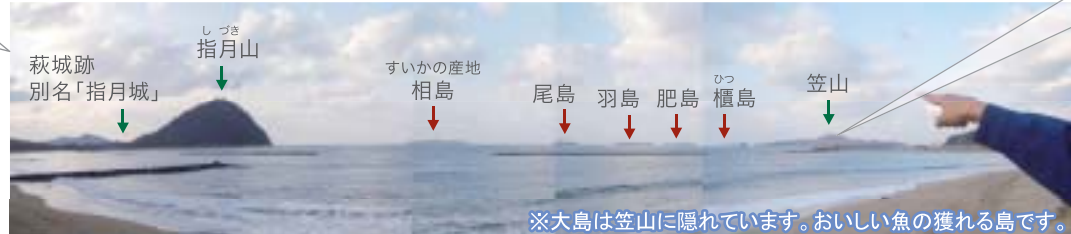
萩のまちの風景や物語をゆっくり歩きながらお楽しみください

堀内・萩城城下町・浜崎 編

白砂青松の海は憩いの海

菊ヶ浜には青い「空」、白い「雲」が、美しい夕日が沈む「海」があります。夜には漁火が水平線を照らしてくれます。

菊ヶ浜から見える島々は、「萩六島」と呼ばれています。普通の島に比べてペチャンコの形が特徴的です。それぞれが、火山噴火でできた溶岩台地の島。平らな溶岩台地は世界でも、萩でしか見ることができない貴重な景観です。



※大島は笠山に隠れています。おいしい魚の獲れる島です。

指月山はお城の森として300年に渡って守られたことで、日本でもまれにみる成熟した照葉樹林として、国の天然記念物に指定されています。

萩城跡 二の丸の土塀

塀に四角い穴をあげ、海から侵攻する外敵に向けて銃が構えられるしくみ。別名「銃眼土塀」といいます。まるで絵はがき...のように切り取られた菊ヶ浜の風景が見えます。



堀内エリア

藩政時代、毛利家の重臣たちの屋敷が広がっていた萩城三の丸。当時とほとんど変わらない街路に沿って、土塀や石垣、長屋門などが立ち並ぶ重要伝統的建造物群保存地区です。

古地図は萩博で手に入れよう！

あなたも古地図で歩かまちを体験してみませんか？



¥500 ●萩博物館ミュージアムショップ
TEL(0838)25-6447 9:00~17:00

萩八景遊覧船コース(約40分)は萩八景のひとつ玉江の美しい景観を眺めることができます。

- 運航 3月~11月
- 料金 個人 大人1,200円 小人600円
団体 大人1,000円 小人500円
貸切 12,000円(10名以内)
- お問い合わせ
萩市観光協会 TEL(0838)25-1750

時代が重なる石垣

城下の石垣をみると、石の加工や積み方の違いから時代の重なりを知ることができます。きれいに整えられた下の段は江戸時代のもので、乱雑に積まれた上の段は明治時代のもので考えられます。



女台場(菊ヶ浜土塁)

時は幕末、外国船からの襲撃に備えるため、日本海に面した菊ヶ浜に土塁が築られました。老若男女、身分を問わず奉仕作業をし、めったに外に出ることのなかった武士の妻や奥女中までが参加したことから「女台場」と呼ばれています。山口県の民謡「男なら」はこのときの作業の様子を歌にしたものです。



笠山は火山です。高さは112m。菊ヶ浜から見るとその名のとおり「市女笠」のような形です。山麓には、25,000本もの椿群生林があり、美しい椿の花が咲き誇ります。

男なら
男ならお槍かついで
お仲間(ちゅうげん)
お国の大事と聞くからは
女ながらも武士の妻
まさかの時にはしめだすき
神功(じんぐう)皇后さんの
雄々しい姿が鏡じやないかいな
オーシャンリーシャリー

浜崎エリア

萩城下の港町、そして北前船の回船業をはじめとした商人の町・浜崎は萩の経済を支える町としてにぎわいました。現在でも往時の町並みを残す浜崎地区は、平成13年に重要伝統的建造物群保存地区に選定され、萩の新しい観光地となっています。そんな浜崎地区のまち歩きを楽しむ地域情報満載のマップができました(浜崎しっちゃん会発行)。ゆっくり散策してはいかが？



●旧山中家住宅 TEL(0838)22-0133
9:00~17:00 水曜休、年末年始休

寺町エリア

萩のまちができた頃よりこの地域は約20余りの寺院や墓地が密集しています。このあたりは三角州上に作られた城下町の中で最も標高の高いところ。また、江戸期からの古く丸い墓石が並び、幕末維新の志士たちの墓もたくさんあります。探してみよう。

凡例

- まちなみ景観
- ビューポイント
- 夏みかんポイント
- 昔の道幅ポイント
- 情報拠点施設
- 文化財など
- 寺院
- 神社
- ポスト
- バス停
- 観光案内板
- 公衆トイレ
- 多目的トイレ
- 学校
- 観光案内板
- 駐車場
- 有料駐車場
- 信号機

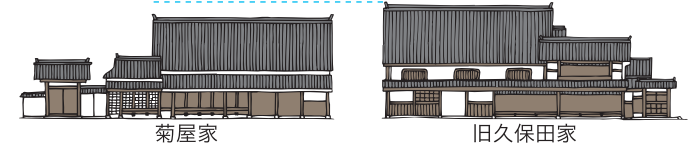
萩城城下町エリア

ここは当時のにぎわい、足音が聞こえてきそうな国指定の史跡。萩を訪れたなら必ず歩いて欲しいところ。そしてそこで、地元の市民グループ「萩城下町盛り上げ隊」が作っているマップを萩博や城下町界隈で手に入れよう。萩焼やおいしいお店、お土産の情報が満載。必携です！



比べてみよう菊屋家と旧久保田家

御成道をはさんで向かい合う立派な両家は、どちらも大きな屋根を持っていますが、江戸時代初期と後期の建て方の違いがわかります。萩に現存する町家では最古とされる菊屋家は、立ちが低くなっています。一方、幕末頃に建てられたとされる久保田家は、屋根裏を利用して物置や使用人の寝間に使われた「つし2階」があり、立ちが高くなっています。



人力車でまぢめぐりができる「俵宿」気軽に道案内もどうぞ

江戸時代から代々問屋と金融・仲買・製塩を業として栄えてきた豪商の屋敷

まち案内の拠点 観光ガイドはおまかせ！
NPO萩観光ガイド協会
TEL(0838)25-3527

晋作が幼いころ遊んでいたお寺

山口県立萩美術館 浦上記念館

元禄8年(1695)に地元浜崎の町人から寄進された貴重な楼門です

江戸時代、この鐘が城下に時を告げ、端坊鐘楼

萩の堀に注目！

足元に江戸時代が見えてくる!?

萩のまちは、今でも江戸時代の城下町絵図がそのまま使えるまち。江戸時代に築かれた道や町割が、今も変わることなく伝えられています。これは明治時代以降に開発や災害を免れたこと、そして武家屋敷の土地がそのまま夏みかん畑として利用されてきたためといわれています。その町割をもっともよく伝えるものが、江戸時代の街路に沿って残る土塀や石垣。これらに注目してまちを歩くと、もっと萩の歴史が見えてくるかもしれません。

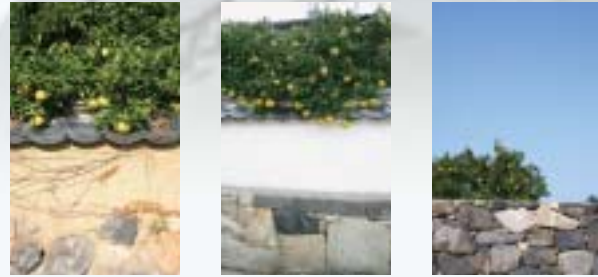
～石を割った人が見える!?

石垣の中にはときどき歯型のような跡が残る石があります。これは矢(くさび)を打ち込んで硬い岩を割るために掘られた穴です。指月山の石切り場には、今も矢穴をつけて割ろうとした石が残っています。歩いて見つけてみよう!



～武家屋敷の中は夏みかん畑?～

萩は夏みかん栽培発祥の地。明治のはじめ禄を失った武士の救済目的で、空き地となった武家屋敷地に植えられました。城下町のいたるところに残る土塀や石垣は、風に弱い夏みかんにとって、最適な防風柵でした。土塀の上からのぞく夏みかんの風景は萩独特の景観です。このマップではおすすめの夏みかんポイント🍊を掲載しています。



～格の違いは石垣にでる!?

萩のまちで使われている石は主に花崗岩と安山岩の2種類。石垣をよく調べると、家の表と裏、屋敷の家格などによって石の種類や加工に違いが見られます。石が使われている場所を見ながら歩いてみよう!

写真		
名前	花崗岩	安山岩
採る場所	指月山	笠山
使う場所	萩城の石垣、重臣の屋敷	城下の基礎石、道路の溝

～道幅が江戸時代の半分になった!～

夏みかん畑に変化したことで、ところどころで園地を広げるために道幅が狭くなりました。本町や広小路の筋では、江戸時代の道幅を示す石を見つけることができます。昔の道幅ポイントはで表示しています。自分の目で確かめてみよう!



あなたは「萩ものしり博士」?

Q1 高杉晋作が幼少期、度胸を試した天狗面のある寺の名は?

- ① 東光寺
- ② 長寿寺
- ③ 円政寺



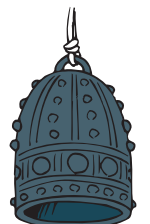
Q2 文久3年(1863)6月、萩の菊ヶ浜に土塁が築かれたが、別名は?

- ① 男台場
- ② 殿様台場
- ③ 女台場



Q3 萩城下の寺院のうち、時鐘が設置されていた寺の名は?

- ① 海潮寺
- ② 端坊
- ③ 西生寺



Q4 萩藩主が、萩から江戸に参勤交代をするときに通った道の名は?

- ① 御成道
- ② 御参道
- ③ 御通道



答えはマップの中に書かれてるよ。探してみよう!

歴代藩主も愛した?～橋本川河畔の風景～

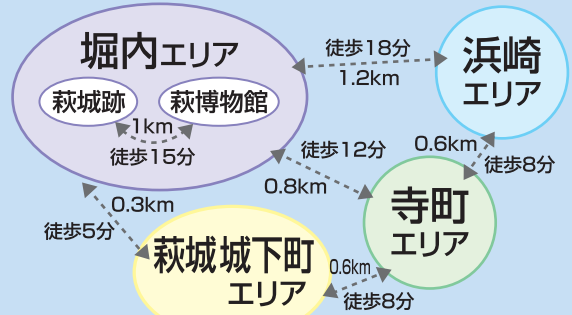
橋本川沿いには大きな松の並木があり、対岸の玉江も含めて美しい河畔の風景を作っています。「玉江秋月」として3代藩主吉就が定めた萩八景*に数えられ、4代藩主吉広が玉江御茶屋、9代藩主斉房が川手御殿という別荘をつくるなど風光明媚な土地が歴代藩主に愛されたようです。今も川沿いには、松を植え、庭をおき、川を眺める別荘の形の屋敷が所々に残っています。平安古地区にある旧田中別邸もおすすめです。



*萩八景 萩城下のまわりで景色のよい場所を8つ選んだもので「倉江帰帆」「玉江秋月」「桜江暮雪」「小松江晚鐘」「上津江晴嵐」「中津江夜雨」「下津江落雁」「鶴江夕照」が定められている。

萩市地図

- まあるバス
 東回りコース(松陰先生)
 西回りコース(晋作くん)
- 駐車場
 - 公共施設
 - 信号機
 - 公衆トイレ
 - その他の施設
 - 国道
 - 多目的トイレ
 - 郵便局
 - 県道
 - 観光案内板
 - 病院
 - レンタサイクル
 - 文化施設
 - ガソリンスタンド



Hagi Machijyu Hakubutukan
萩まちじゅう博物館
 お問い合わせ 萩まちじゅう博物館推進課
 〒758-0057 萩市堀内355(萩博物館内)
 TEL(0838)25-3166
<http://machihaku.city.hagi.yamaguchi.jp/>